

# オバケだって、カゼをひく！

内科・オバケ科 ホオズキ医院  
富安陽子作 小松良佳絵 ポプラ社

ぼくは、丸山小学校五年二組二十八番峰岸恭平。  
ある日、白狐堀に魚とりに行った帰り道、見しらぬ路地に迷い込んだ。路地の終点にはくすんだクリーム色のかべの家があった。「内科・オバケ科 鬼灯医院」というカンバン。建物の中から「あたしや、おとといから化けっぱなし。」と話をしている男の人の声がかきこえる。(化けっぱなし?)  
中をのぞくと、あやしい魔法使いかインチキな手品師のようにしか見えないお医者さんがすわっていた。  
いったい、あいつは何者なんだ?

